

＼「こども本の森 松山」ウェルカム講演／
一人ひとりがみんなたいせつ
～ 作品に託す願い ～



5.31(土) 13:30-15:30
坂の上の雲ミュージアム 2階ホール



児童文学作家 くすのきしげのり

1961年徳島県生まれ。絵本『おこだでませんように』『メガネをかけたら』（ともに小学館）が、全国青少年読書感想文コンクール課題図書となる。『メロディ』『ええところ』『ともだちやもんな、ぼくら』等、小学校(2024年度改訂)・中学校(2025年度改訂)の教科書において、小学校1年生～中学校3年生の全学年の教科書に作品が採用・掲載される。また、『あなた的一天が世界を変える』（PHP研究所）『Life』（瑞雲舎）『わたしがはやくねるわけはね……』（小学館）等、200作品を超える著作は海外でも広く読まれている。

お申込み方法

坂の上の雲ミュージアムHP内のフォームより
必要事項を記入のうえ、お申込みください。

<https://www.sakanouenokumomuseum.jp/>



申込〆切：5月19日(月)

定員：80名 ※応募多数の場合は抽選

料金：無料



2025年7月下旬オープン



坂の上の雲ミュージアム
Matsuyama Children's Book Forest

こども本の森 松山 って？

- ・ミュージアム2階部分にできる「図書室」
- ・小中学生を中心に全世代が対象
- ・貸出は行わず、滞在して
本に親しむことを目的とする
- ・書籍数は4,500冊ほど
(絵本、図鑑、写真集、児童文学など)
- ・入室無料
- ・収容人数は30名（完全入替制・要予約）

「こども本の森 松山」の運営コンセプト

～過去を学び、今を考え、未来を切り開くために～

こどもたちがいろんな本と出会い、本を楽しみ、本から新しい発見をしてほしい。
本を読むことで、たくさんのことを知り、自分が何をしたいのかを考え、
未来への夢や希望、想像をふくらませてほしい。

そして、『坂の上の雲』の主人公たちのように、迷ったり悩んだりしながら、
いろいろなことにチャレンジして、「なりたい自分」を見つけてほしい。

こどもたちが自分だけの物語を紡ぐきっかけになるように。

いつまでも変わらずにある、こどもたちの「お気に入りの場所」になるように。

そんな願いを込めて、坂の上の雲ミュージアムに今年7月、

「こども本の森 松山」をオープンします。



提供：安藤忠雄建築研究所



詳細は坂の上の雲ミュージアムの
ホームページ等をご覧ください。

ホームページ インスタグラム

